

都市再生整備計画 事後評価シート

高萩市中心市街地地区

平成23年3月

茨城県高萩市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	高萩市		地区名	高萩市中心市街地地区			面積	756ha	
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	637百万円	国費率	0.403			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(中央跨線人道橋)、公園(街区公園3箇所)、地域生活基盤施設(耐震性防火貯水槽)、既存建造物活用事業(コミュニティ複合施設、防災備蓄倉庫)									
		提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	中央跨線人道橋エレベーター設置事業	事業期間見直しのため削除		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			駅東西の交流促進に関連するが、指標及び数値目標は据え置く			
		提案事業	消防ポンプ自動車設置	「まちづくり交付金制度の適正な活用について(H20年度本省通知)」に基づき事業内容を精査・見直した結果、交付対象事業から削除		影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	駅前自転車駐車場整備、人道橋手すり設置	自転車駐車場:駅前利用者の利便性の向上 手すり:通行時の安心安全の向上(歩行者支援)		自転車駐車場:駅東西の交流促進にプラスの影響があるが、数値目標は据え置く 手すり:指標3の数値目標達成へのプラス要因となるが、数値目標は据え置く。			自転車駐車場:駅東西の交流促進にプラスの影響があるが、数値目標は据え置く 手すり:指標3の数値目標達成へのプラス要因となるが、数値目標は据え置く。			
		提案事業	コミュニティバス支援事業	施設利用者の移動利便性を高める		コミュニティバス利用者数を指標の数値目標に設定						
交付期間の変更	当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	コミュニティ複合施設利用人数	人/年	29,601	H17 35,000 H22	モニタリング	評価値	達成度	あり なし	隣接する総合福祉センターとの一体利用により、コミュニティ活動が活発化し利用者の増につながった。	-	
	指標2	住民の防災・防犯面での満足度	%	17	H17 50 H22	16	7	×	あり なし	満足度調査が全市民対象のアンケートであったため、数字上事業の効果は達成されなかったが、アンケート(5段階評価)の結果、「普通」と回答した人が60%以上であったことから一定の整備効果があった。	平成23年4月	
	指標3	ガードレール、歩道などの交通安全での満足度	%	8	H17 50 H22	23	10	×	あり なし	満足度調査が全市民対象のアンケートであったため、数字上事業の効果は達成されなかったが、アンケート(5段階評価)の結果、「普通」と回答した人が60%以上であったことから一定の整備効果があった。	平成23年4月	
	指標4	コミュニティバス利用者数	人/年	0	H18 5,000 H22	5,762	5,763	○	あり なし	バス停の新設等、住民の意見を反映したことが利用増につながった。	平成23年4月	
	指標5								あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	公園利用者の安全・安心等に係る満足度	%	-	-		73	/	/	公園周りをフェンスに換え、見通しを良くし、災害時に対応できるトイレを新設したことにより、防災・防犯面での満足度アップにつながった。	-	
	その他の数値指標2	中央跨線人道橋利用者の安全性・通行のしやすさ等に係る満足度	%	-	-		79	/	/	老朽化した跨線橋の架け替えを行い、手すりを設置し、ゴム製の舗装を施したことにより、歩道の交通安全での満足度アップにつながった。	-	
	その他の数値指標3							/	/			
4)定性的な効果発現状況	大目標である「誰もが安心して暮らせるまちづくり」は、本事業による施設の整備により安心安全度が向上し、一定の効果を発揮した。コミュニティバスの運行が浸透し、利用者から路線やバス停の追加など更なる要望が寄せられている。公園や人道橋整備など防災やバリアフリー事業を展開したことにより、従前より不満足度が減少したため効果を実現できた。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等							
	モニタリング	仮のモニタリングシートを作成し、データ計測を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● 交付期間途中に供用した事業の効果を確認することができた。モニタリング同様に毎年度の所管課の積み上げ台帳により確認する。				
	住民参加プロセス	住民意見を反映したバス停の新設(コミュニティバス運行事業)	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● 今後も住民意見を反映しながら、必要に応じて実施していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							

様式2-2 地区の概要

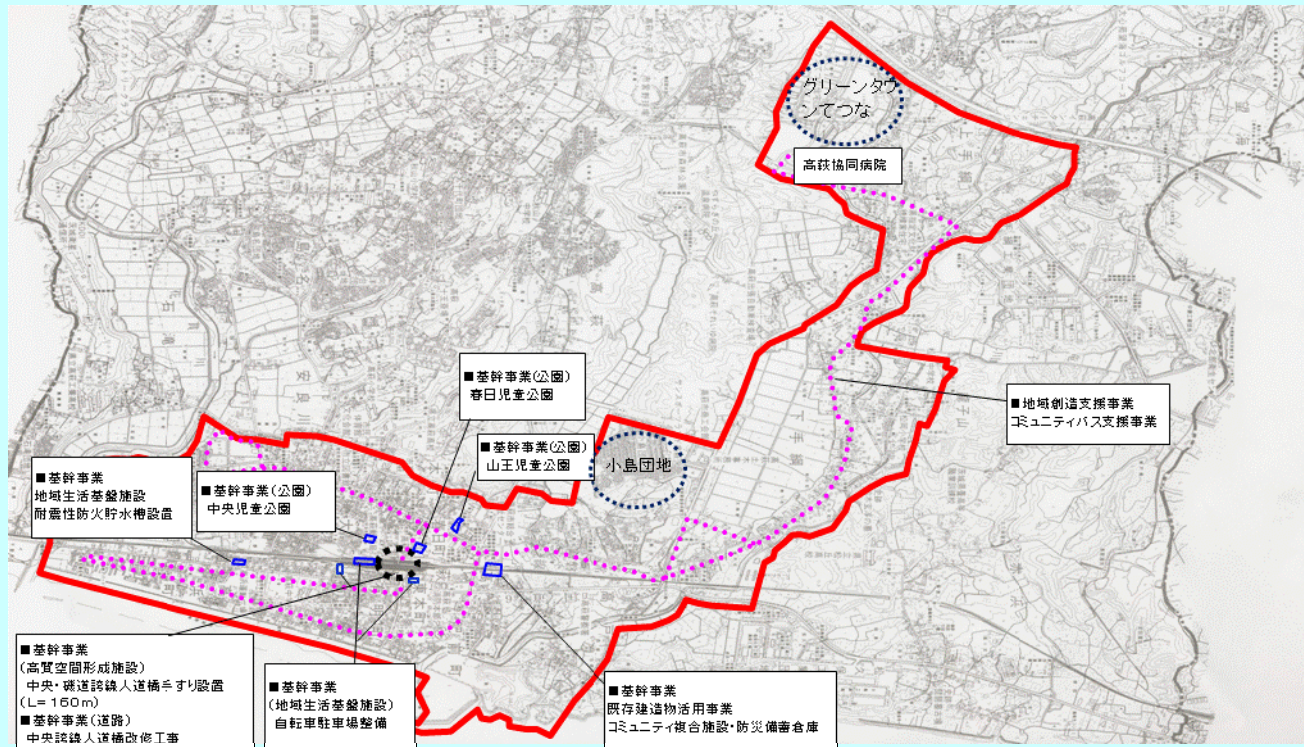
高萩市中心市街地地区(茨城県高萩市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標 コミュニティの活性化と防災機能の充実による誰もが安心して暮らせるまちづくり ・目標1:コミュニティ複合施設整備及び公園整備による住民の交流空間の創出 ・目標2:防災対策用の物資・機器・設備の充実による災害時の機動性の向上 ・目標3:駅東西を快適な歩行空間で結び市街地地区内の交流を促進する	コミュニティ複合施設利用人数	単位:人/年 29,601 H17	35,000 H22	55,394 H22
	住民の防災・防犯面での満足度	単位:% 17 H17	50 H22	7 H22
	ガードレール、歩道などの交通安全での満足度	単位:% 8 H17	50 H22	10 H22
	コミュニティバス利用者数	単位:人/年 0 H18	5,000 H22	5,763 H22
	公園利用者の安全・安心等に係る満足度	単位:%		73 H22
	中央跨線人道橋利用者の安全性・通行のしやすさ等に係る満足度	単位:%		79 H22

中央跨線人道橋の整備



中央児童公園の整備



コミュニティ複合施設の整備
既存建造物活用



コミュニティバスの運行



まちの課題の変化

コミュニティ活動の拠点施設が整備され、老朽化した中央跨線人道橋の架けかえによる安心安全度の向上により、駅東西の交流が活発になり、コミュニティ複合施設(福祉センター・リーベロ高萩)の利用者が増加した。
公園整備による防災機能の充実や中央跨線橋の架けかえによる歩道等の整備効果により、まちの安心安全度は向上したが、住民意識に十分に認知されなかったことが課題である。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

・本事業により、中心市街地の施設の安心安全度は、従前に比べ大きく進展した。今後は、課題である中心市街地に、賑わいと商業等の活性化を取り戻すため、住民参加・主導型のソフトの仕組みづくりを行う。
・駅東西での魅力あるイベント等を開催して、公園や跨線橋の利用者の増加を図り、その整備について、市報やホームページで整備前後を比較した写真を掲載するなど事業による改善効果をアピールする。
・防災関連イベント実施時に直接市民の意見を聞き、防災への取組をアピールする。
・コミュニティ活動の拠点施設が整備されたことにより、活動団体の運営力強化や組織の活性化、団体相互の更なる交流を促進する。